

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	新潟こども医療専門学校
設置者名	学校法人 新潟高度情報学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	医療事務総合学科	夜・通信	84 単位	6 単位	
教育・社会福祉専門課程	こども未来学科	夜・通信	3,245 時間	320 時間	
	こども発達学科	夜・通信	1,945 時間	240 時間	
	こども学科	夜・通信	1,615 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://kodomoiryo.com/about/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟こども医療専門学校
設置者名	学校法人 新潟高度情報学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ https://kodomoiryo.com/about/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	2022年7月1日～ 2026年6月30日	学校運営・財務に関する助言
非常勤	株式会社 役員	2022年7月1日～ 2026年6月30日	学校運営・財務に関する助言
非常勤	株式会社 役員	2022年7月1日～ 2026年6月30日	学校運営・財務に関する助言
非常勤	弁護士	2022年7月1日～ 2026年6月30日	学校運営・法務に関する助言
非常勤	宮司	2022年7月1日～ 2026年6月30日	学校運営に関する助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟こども医療専門学校
設置者名	学校法人 新潟高度情報学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>9月と2月に行われる教育課程編成委員会にて指導を仰ぐとともに、その年度の反省を活かしながら、次年度の授業計画の構築をすすめる。</p> <p>授業概要・授業回数・授業計画・到達目標・評価方法・使用テキスト等の記載されたシラバスを前年度3月に作成し、4月のオリエンテーションにて該当学生へ配布。また、一般への公表のため4月にホームページへ掲載する。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページ https://kodomoiryo.com/about/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>学期末試験および中間試験に重点を置き、平素の授業態度・確認テスト・授業出席率等、多面的に評定した総合点(200点満点)により、A～Dの4段階評価を行い、A～Cを単位認定する。</p> <p>なお、評価科目の授業出席数が2/3に満たない者は期末試験を受験できない。</p> <p>A (160～200点) B (140～159点) C (120～139点) D (0～119点)</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標に基づく成績分布状況は、学科・学年ごとに200点満点の評価を100点満点に換算し、全科目の平均値を算出して把握する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ https://kodomoiryo.com/about/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【認定方針】 各学科が目標とする資格取得や検定合格に照準を合わせた教育課程（カリキュラム）を通して、技術者およびビジネス実務者としての知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【卒業条件】</p> <p>○こども分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間出席率 90%以上 ・成績評価がすべてC評価以上 ・学費および諸経費の全納 <p>○医療分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業に必要な総単位数 68 単位以上を取得 ・学費及び諸経費の全納 <p>【卒業判定】 全科目修得後、2月に学校長以下教務課職員全体で「卒業認定会議」を行う。上記条件を満たした者が学校長により卒業認定される。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ https://kodomoiryo.com/about/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	新潟こども医療専門学校
設置者名	学校法人 新潟高度情報学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://kodomoiryo.com/about/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ https://kodomoiryo.com/about/
財産目録	ホームページ https://kodomoiryo.com/about/
事業報告書	ホームページ https://kodomoiryo.com/about/
監事による監査報告（書）	ホームページ https://kodomoiryo.com/about/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療事務総合学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼夜	68単位	58単位	17単位	17単位	0単位	0単位
	昼間		92単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
48人		22人	0人	2人	4人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 通常の授業においては学生の理解度を計るため確認テストを行い、必要に応じて補習授業を行う。また、検定受験前には対策授業として模擬試験、採点、解説を毎日行い、検定当日の時間配分や集中力を身につける指導を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 学期末試験・中間試験に重点を置き、平素の授業態度・確認テスト・授業出席率等を多面的に評価した総合点によりA～Dの4段階評価を行い、A～Cを単位認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・卒業に必要な総単位数68単位以上を取得 ・学費および諸経費の年度内全納 上記全ての条件を満たすこと。
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>クラス担任制をとり、個別相談や個別指導の対応を充実させている。 (電話やメール等による連絡、個別面談、保護者面談、補習指導など)</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	17人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 総合病院、医院、調剤薬局など			
(就職指導内容) 資格取得(検定合格)のための特別教科対策指導、就職関係書類作成、面接指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 診療報酬請求事務能力認定試験、医科 医療事務管理士技能認定試験、歯科 医療事務管理士技能認定試験、医療事務技能審査試験、医事オペレータ技能認定試験、調剤事務管理士技能認定試験、介護事務管理士技能認定試験、医師事務作業補助者検定試験、秘書技能検定 2 級、Microsoft Office Specialist Word、Microsoft Office Specialist Excel			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補習授業、個別ガイダンス、保護者面談等の個別指導を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	こども未来学科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3,400 単位時間	1,530 単位時間	2,220 単位時間	800 単位時間	0 単位時間	30 単位時間
			4,580 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
96人	52人	0人	16人	21人	37人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>教科間の連携を目的とした教科会議を行う。 年に2回教育課程編成委員会を開催し、学科ごとにご指導をいただく。 教科会議と教育課程編成委員会の内容、前年度の授業アンケート、教員自身の反省・評価を踏まえ、シラバスを作成。 新年度前に集約。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学期末試験・中間試験に重点を置き、平素の授業態度・確認テスト・授業出席率等を多面的に評価した総合点によりA～Dの4段階評価を行い、A～Cを単位認定する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間出席率が90%以上である ・成績評価が全てC評価以上である ・学費及び諸経費が年度内に全納されている <p>上記全ての条件を満たすこと</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、個別相談や個別指導の対応を充実させている。 （電話やメール等による連絡、個別面談、保護者面談、補習指導など）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 （100%）	0人 （0%）	12人 （100%）	0人 （0%）
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>保育所、認定こども園、小学校、高等学校、一般企業（総合職）</p>			

<p>(就職指導内容)</p> <p>公務員試験対策講座、就職相談、履歴書作成指導、面接練習、各種就職データ提供、スーツ講座など</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>幼稚園教諭一種免許、保育士資格、小学校教諭一種免許、養護教諭一種免許、社会福祉主事任用資格、Microsoft Office Specialist Word、Microsoft Office Specialist Excel、リトミック研究センター認定幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格1級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	3人	5.2%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、精神的な問題</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>補習授業、個別ガイダンス、保護者面談、授業内容の見直し、卒業生による講話の開催、現場見学、学校生活の充実化(行事やイベントを増やして、クラスメイトとの関係づくりを補う)、教育課程編成委員会で社会や地域の情報をいただきながら中退防止の対応策を講じる、グループ園と実習方法について入念な打ち合わせ</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	こども発達学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,735 単位時間	870 単位時間	1,650 単位時間	540 単位時間	0 単位時間	30 単位時間
			3,090 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
72人	27人	0人	16人	8人	24人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教科間の連携を目的とした教科会議を行う。 年に2回教育課程編成委員会を開催し、学科ごとにご指導をいただく。 教科会議と教育課程編成委員会の内容、前年度の授業アンケート、教員自身の反省・ 評価を踏まえ、シラバスを作成。 新年度前に集約。
成績評価の基準・方法
（概要） 学期末試験・中間試験に重点を置き、平素の授業態度・確認テスト・授業出席率等を 多面的に評価した総合点によりA～Dの4段階評価を行い、A～Cを単位認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・年間出席率が90%以上である ・成績評価が全てC評価以上である ・学費及び諸経費が年度内に全納されている 上記全ての条件を満たすこと
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、個別相談や個別指導の対応を充実させている。 （電話やメール等による連絡、個別面談、保護者面談、補習指導など）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 （100%）	0人 （0%）	7人 （87.5%）	1人 （12.5%）
（主な就職、業界等） 認定こども園 保育園			

<p>(就職指導内容)</p> <p>就職相談、履歴書作成指導、面接練習、各種就職データ提供、メイク講座、スーツ講座</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格、Microsoft Office Specialist Word、Microsoft Office Specialist Excel、幼児体育指導者検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	7人	17.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>補習授業、個別ガイダンス、保護者面談、授業内容の見直し、卒業生による講話の開催、現場見学、学校生活の充実化(行事やイベントを増やして、クラスメイトとの関係づくりを補う)、教育課程編成委員会で社会や地域の情報をいただきながら中退防止の対応策を講じる、グループ園と実習方法について入念な打ち合わせ</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	こども学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 単位時間	525 単位時間	1,500 単位時間	540 単位時間	0 単位時間	45 単位時間
			2,610 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
110人	33人	0人	13人	12人	25人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教科間の連携を目的とした教科会議を行う。 年に2回教育課程編成委員会を開催し、学科ごとにご指導をいただく。 教科会議と教育課程編成委員会の内容、前年度の授業アンケート、教員自身の反省・ 評価を踏まえ、シラバスを作成。 新年度前に集約。
成績評価の基準・方法
（概要） 学期末試験・中間試験に重点を置き、平素の授業態度・確認テスト・授業出席率等を 多面的に評価した総合点によりA～Dの4段階評価を行い、A～Cを単位認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・年間出席率が90%以上である ・成績評価が全てC評価以上である ・学費及び諸経費が年度内に全納されている 上記全ての条件を満たすこと
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、個別相談や個別指導の対応を充実させている。 （電話やメール等による連絡、個別面談、保護者面談、補習指導など）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 （100%）	0人 （0%）	18人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 認定こども園、幼稚園、保育所、施設			

<p>(就職指導内容)</p> <p>就職相談、履歴書作成指導、面接練習、各種就職データ提供、メイク講座、スーツ講座</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格、Microsoft Office Specialist Word、Microsoft Office Specialist Excel</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	6人	12.8%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>補習授業、個別ガイダンス、保護者面談、授業内容の見直し、卒業生による講話の開催、現場見学、学校生活の充実化(行事やイベントを増やして、クラスメイトとの関係づくりを補う)、教育課程編成委員会で社会や地域の情報をいただきながら中退防止の対応策を講じる、グループ園と実習方法について入念な打ち合わせ</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療事務総合学科	50,000円	600,000円	280,000円	その他は施設料・設備費の合計
こども未来学科	50,000円	640,000円	310,000円	
こども発達学科	50,000円	640,000円	310,000円	
こども学科	50,000円	640,000円	310,000円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> 当校独自の学費支援制度あり 日本学生支援機構の給付型奨学金の採用候補者や奨学金予約採用者等に関して、本人からの申し入れがあった場合、授業料・その他費用の延納を認める(納入時期等は協議の上決定) 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページ https://kodomoiryo.com/about/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校関係者評価の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の自己評価の客観性や透明性を高めること 評価活動等を通じたコミュニケーションにより、学校関係者と学校がお互いに理解を深めること 学校関係者が、学校と一緒に学生のことを考え、それぞれの立場、視点から意見を出し合うことで、よりよい学校をつくること <p>評価のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の重点目標を具体的かつ明確に示しているか。 学校の重点目標の達成に向けた具体的な取組は適切か。 学校の教職員が協力して計画・実践・評価・改善を進めているか。 よりよい学校づくりのために、課題に対する学校としての改善策が提案されているか。 <p>実施方法</p> <p>関係業界から2名に委嘱し、年1回以上定期的を開催する</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
はやし社会福祉士事務所	2024年4月1日～ 2026年3月31日	企業等委員
社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 新潟県済生会 済生会新潟病院	2024年4月1日～ 2026年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
ホームページ https://kodomoiryo.com/about/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
ホームページ https://kodomoiryo.com

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H115310000133
学校名 (〇〇大学 等)	新潟こども医療専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 新潟高度情報学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		17人 () 人	17人 (-) 人	17人 (1) 人
内訳	第Ⅰ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅲ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅳ区分 (理工農)	人	人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	0人	-	
区分外 (多子世帯)	人	人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 (0) 人
合計 (年間)				17人 (1) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等					
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	0人	-	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-	-	-
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	-	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。